

令和6年度 第2回美博文化講座へのおさそい

(柳田國男記念伊那民俗学研究所共催事業)

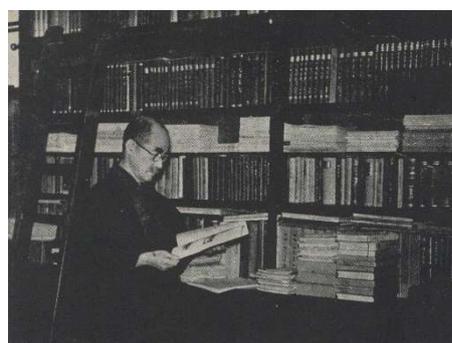
怪異の民俗学から〈事実〉の民俗学へ

－「妹の力」と確立期の柳田民俗学－

大正末年から昭和の初めにかけては、柳田国男の学問がはっきりした形を取った重要な時期です。大正12年末に欧州滞在から帰国した柳田は、関東大震災による焦土の惨状を眼の当たりにして、改めて「学問に拠って立つ」という決意を固め、新しい救世の学の創生に向けて邁進します。

そうした中で、体験された〈事実〉のみによって、私たちの〈生〉の広がりや歴史として捉え直すという、「〈事実〉の民俗学」とでもいふべき学問の形がはっきりと現れてきます。論考「妹の力」は、まさしく、そんな時代に、きたるべき女性参政権の到来を見通して書かれました。

本講では、昨年刊行した共同研究『女性の力から歴史をみる－柳田国男「妹の力」論の射程－』の成果を踏まえながら、この時期の柳田の学問と思想の現代的意義について、皆さんと一緒に考えます。



令和6年5月26日(日) 午後2時00分～3時30分

講師：永池 健二 氏 (元奈良教育大学教育学部教授、柳田國男研究会会員)

会場：飯田市美術博物館講堂

定員：60名 ※予約先着順

受講料：無料

主催：飯田市美術博物館、柳田國男記念伊那民俗学研究所

申込方法：お電話(0265-22-8118)にてお申し込みください

お申し込みの際には、1)希望する講座名、2)氏名、
3)電話番号をお知らせください

○受付開始：5月10日(金)～(受付時間は9:30～17:00)

○FAX、メールでの受付はできません

○キャンセルのご連絡はお早めをお願いいたします



『妹の力』

●今後の新型コロナウイルスの感染状況により、急遽内容変更または中止となる可能性もありますので、ホームページ等で最新の情報をお確かめください。

●同時事業のお知らせ

講演後、15時40分から同会場において、3月に刊行された報告書『上郷飯沼の民俗』の内容について3名の方による報告が行なわれます。詳細は柳田國男記念伊那民俗学研究所HPをご覧ください。